

国立赤城青少年交流の家

F A X : 0 2 7 - 2 8 9 - 7 2 2 6

Mail: akagi-suishinn@niye.go.jp

③登山実施届（記入例）

太枠内のご記入と該当項目に☑をお願いしま
す。

ご記入後、事前にメール（もしくはFAX）に
て交流の家にご提出ください。

団体名（略可）	前橋市立赤城小学校	記入日	2022年	5月	12日（木）
引率代表者名	赤城 太郎	実施日	2022年	7月	12日（火）
当日の連絡先	090-xxxx-0000	活動時間	9:00	～	12:00
参加者数 （待機者数）	登山参加者（引率者含む） 男子 56名 女子 45名	講師	講師がつく場合は、講師名をお書きください		
	待機者（引率者含む） 男子 2名 女子 1名	待機者氏名（引率者含む）	前橋 花子（引率者）		
	※（待機者は、当交流の家に残る方）		黒日 よしお		
	待機場所 ※待機場所についてはプログラム調整担当者が調整いたしますが、ご希望をご記入ください。 例1）宿泊室待機 例2）研修室で創作活動 研修室で木の名札づくり		小林 長七郎		
コース ※登る山に☑を 入れ、登山行 程をご記入 ください。	<input type="checkbox"/> ① 長七郎山（記入例：小沼駐車場→長七郎山山頂→鳥居峠→覚満淵→ビジターセンター駐車場）				
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 地蔵岳（記入例：新坂平駐車場→地蔵岳山頂→小沼駐車場） 新坂平駐車場→地蔵岳山頂→小沼駐車場				
	<input type="checkbox"/> ③ 鍋割山（記入例：姫百合駐車場→荒山高原→鍋割山山頂→荒山高原→姫百合駐車場）				
	<input type="checkbox"/> ④ その他（記入例：おのこ駐車場→黒檜山山頂→駒ヶ岳山頂→おのこ駐車場）				
緊急車両	登山口・下山口付近に、緊急車両を配備されていますか？（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ）				
移動手段	【登山口まで】の移動手段（ <input type="checkbox"/> 徒歩 <input checked="" type="checkbox"/> 大型バス <input type="checkbox"/> 中型バス <input type="checkbox"/> 自家用車 ）				
	【下山口から】の移動手段（ <input type="checkbox"/> 徒歩 <input checked="" type="checkbox"/> 大型バス <input type="checkbox"/> 中型バス <input type="checkbox"/> 自家用車 ）				
上記コースにつ いて	上記コースについて、下見はされていますか？（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ）				
	・有の場合は、いつ下見されたかお書きください。（ 2022年 5月 12日（木） ） ・無の場合は、下見をされることをおすすめします。				
荒天時のプロ グラム	荒天時のプログラムをお書きください。 (例) 国立赤城青少年交流の家9:00入所 → 館内フォトラリー → 研修室にて昼食				

1. 提出書類

- 登山実施届に加えて、「登山者名簿（決まった書式はありません）」も提出してください。

※「登山者名簿」は「利用者名簿（宿泊者名簿も含む）」に不参加者名に印をつける等、加筆したもので構いません。不参加者で交流の家に待機される場合には、待機場所と氏名を教えてください。

2. 登山直前の天候

- 当日の天気予報・登山道状況・交通状況などを確認してください。

赤城山ビジターセンター TEL：027-287-8402

前橋市赤城少年自然の家 TEL：027-287-8227

赤城山ライブカメラ URL：<https://www.akagi-trip.com/live>



3. 借用備品

以下の備品を希望する場合は、該当項目にチェックをつけて、数量をお書きください

- （熊鈴 数量 3個） （トランシーバー 数量 3個）

※熊鈴の数の目安は、列の先頭・中央・一番後ろに1つずつです。

※トランシーバーの在庫は5台です。1台につき単三電池3本ご用意していただきます。（予約不可）

4. 安全

以下の項目を確認していただき、チェックをつけてください。

- 事前の下見をしました。
- 適切な「服装」と「持ち物」の準備をしました。
- 体調の不調者はありません。
- 登山中、雷鳴が聞こえたら、ただちに活動を中止します。
- 道迷いを防ぐため、登山者の先頭と一番後ろは、山行ルートを知っている者を配置します。
- 野生動物との接触と防ぐため、熊鈴を持参します。
- 登山中は、帽子・手袋・長ズボン・長そでの着用をします。
- 無事に全員が下山するまで注意します。

5. 職員の説明

「国立赤城青少年交流の家」から山へ向かう場合、必要があれば、出発前に施設職員による説明を行います。

※すべての項目を確認し、をお願いいたします。

※様式については、国立赤城青少年交流の家HP内の活動プログラム・マニュアルと打ち合わせシートよりダウンロードできます。
（下記URLもしくはQRコードより読み込み）

<https://akagi.niye.go.jp/program/manual/>

